

長野県外国人政策検討懇談会（第1回）

資料3

外国人材の受入れや外国人との共生についての
県の将来像及び課題について

外国人材の受入れや外国人との共生について現時点で県として考える将来像

「信州未来共創戦略～みんなでつくる2050年のNAGANO～」(抜粋)

令和6年(2024年)12月「私のアクション! 未来のNAGANO 創造県民会議」策定

(価値観を転換し目指す社会) **外国人を含むすべての県民が地域社会の一員として等しく活躍できる社会**

方 向 性

○外国人との共生の観点から

【2050年にありたい姿】

- ・国内外から信州へ来る方々（外国人を含む）が積極的に受け入れられ、地域社会の一員として、安心して暮らし、働ける環境になっている。

【2030年に目指す旗】

- ・外国人を地域社会の一員として受け入れるための総合的な政策がとりまとめられている。
- ・希望する外国人が無償で日本語及び日本の生活習慣や文化を習得することができる場がある。
- ・就学年齢の外国人の子ども全員が、いずれかの学校に通っている。

○外国人材の受入れの観点から

【2050年にありたい姿】

- ・多様で柔軟な働き方の実現やリスクリングの充実等により、女性、高齢者、障がい者、外国人など幅広い人々の労働・社会参加が進んでいる。

【2030年に目指す旗】

- ・高度外国人材（専門的・技術的分野）を10,000人以上とする。
※5,786人（2023年）

今後検討すべき具体的取組例

- ・外国人の増加が見込まれる中、現行制度上の課題など外国人政策全般を議論するため、有識者から成る外国人政策検討会議（仮称）を設置【行政】
- ・日本語教育の充実、生活支援の充実等を推進するため、県に多文化共生推進本部（仮称）を設置【行政】
- ・各圏域で外国人県民の暮らし（日本語、文化、交流を含む）を多言語対応によりトータルサポート【行政・企業・地域・県民】
- ・様々な県の政策において、居住している外国人の声を尊重するため、長野県外国人会議（仮称）の設置について検討【行政・地域・県民】
- ・設置目的に応じた審議会委員等への登用など、外国人県民の社会参画を拡大【行政・地域・県民】
- ・県組織において、公権力の行使等にあたらぬ職務を遂行する職について、その能力に応じて外国人の任用を推進【行政】

- ・県内企業の海外進出支援、海外からの投資や企業立地の促進、様々な分野で活躍が期待される高度外国人材の誘致などを進め、海外とのビジネスのさらなる拡大やイノベーションを創発するため、県庁のグローバル対応機能を強化【行政・企業】
- ・長野県産業を支える外国人材の誘致促進【行政・企業・教育機関】

「現状」と「県の取組」、将来像を目指すための県としての問題意識

1 多文化共生関連

「現状」と「県の取組」	県としての問題意識
(1) 日本語教育 ○現状 - 県内の地域日本語教室：77か所、日本語教室がある市町村数：34市町村（R6年度県調べ） ○県の取組 - 長野県地域日本語教育体制づくり事業の実施（地域日本語教育コーディネーターを配置し日本語教室の設置や連携の推進を支援、各種研修会の開催） - 外国人県民が県内のどこに住んでいても、生活に必要な入門期の日本語や日本文化・生活習慣をオンラインで学ぶことができる教室の開設【R7年度開設に向け準備中】	- 生活者への日本語教育の提供は地方自治体が担うこととされているが、制度化・体系化されていないことから人材確保が難しく、安定的な運営が難しい。 - 就労者の日本語教育は企業の負担で実施することが原則となるが、取組に差異がある。
(2) 生活相談 ○現状 - 外国人相談窓口設置市町村：22市町村（R7年度4月県調べ） ○県の取組 - 長野県多文化共生相談センターにおける多言語での相談対応（R6年度相談件数：1,782件）	相談を受けて専門機関につなげるだけでなく、解決に向けた支援機能の強化が求められている。
(3) 医療通訳 ○現状 - 飯田市において、医療通訳派遣事業（ポルトガル語・英語・中国語）を実施 ○県の取組 - 長野県医療通訳コールセンターを開設し、22言語24時間で電話通訳（高度な医療通訳を除く）	- 高度な内容を含む場合の対応が難しい。 - 医療機関からは電話通訳ではなく対面での通訳の派遣要望があるが、医療通訳者の数が少なく応えられていない。
(4) 子どもの教育 ○現状 - 外国籍児童生徒の数：小学校936人、中学校470人（文部科学省 R6年度学校基本調査） ○県の取組 - 県教育委員会において外国籍児童生徒に対応するための支援加配（小学校13校）等を実施 （公財）長野県国際化協会において、外国籍児童生徒就学支援事業（サンプラプロジェクト）等を実施 - 日本語学習コーディネーター（4名）を配置し、学校を支援（R6年度実績：46学校訪問、94件支援）	市町村ごと、学校ごとに対応が異なり、外国人の児童生徒が一定の日本語教育を受けることが難しい。
	※上記（1）～（4）に共通の問題認識 多文化共生の取組は多くのボランティアによって支えられてきたが、高齢化や低処遇などにより担い手が不足。専門職としての人材養成や適正な処遇の改善に取り組む必要がある。

「現状」と「県の取組」、将来像を目指すための県としての問題意識

2 外国人材の受入れ関連

「現状」と「県の取組」	県としての問題意識
○現状（いずれも令和6年10月末現在 長野労働局） ・県内の外国人労働者数 27,834人 ・外国人労働者を雇用している県内事業所数 4,992事業所 ・人手不足等を背景に、平成19年に届出が義務化されて以降、労働者数・事業所数ともに過去最高を更新 ○県の取組 企業の受入れ支援 外国人材の円滑かつ適正な受入れの推進・職場内共生の推進 ・企業向け相談窓口の設置 ・企業と監理団体・登録支援機関等とのマッチング機会創出 ・企業への日本語教育人材の紹介 ・企業在職者向け日本語講座の提供 ・企業在職者向け日本語講座の開催支援 外国人留学生の県内就職促進 ・県内留学生等と県内企業の出会いの場となるイベントの実施 ・信州留学生就職促進コンソーシアムへ参加、信州留学生就職促進プログラム「留JOB信州」の運営を支援 分野別対応 （IT人材） インターンシップ実施に対する伴走支援、助成 （観光） 外国人材確保に向けたセミナー開催 （介護） 来日前研修（日本式介護）受講支援、住居借り上げ支援（賃借料等）、日本語学習・介護分野専門研修受講支援、留学生奨学金等支給支援、介護業務に必要な多言語翻訳機の導入支援、外国人材活用に関する説明会を開催、海外現地での人材確保に係る取組支援 （農業） 特定技能外国人のリレー雇用、農業の働き方改革の啓発 （林業） 外国人材の林業就業に向けた検討	（総論） ・多様な外国人材から選ばれ、本県に定着してもらうための魅力のある職場や地域づくりに企業、地域、行政等が一層連携して取り組む必要がある。（1と関連） （受入れに関する課題） ・外国人材の採用を希望しながらも、募集・採用に関するノウハウがない （就労環境に関する課題） ・職場で働くためのコミュニケーション、生活・文化の違いに対する職場内の理解が不足している ・受入企業による日常生活等へのサポート体制が必要 （新たな在留資格制度に関する課題） ・現在検討されている「育成就労」制度では、一定の要件のもと、本人意向による転籍が認められることから、地方に比べて賃金が高い大都市圏への人材流出のおそれがある。 ・「育成就労」から「特定技能1号」へ、さらに「特定技能2号」へ移行する外国人労働者の増加に伴い、帯同する家族の増加が見込まれるが、日本語教育を始めとした支援の仕組みが整っていない。（1-(1)・(4)）と関連）

「現状」と「県の取組」、将来像を目指すための県としての問題意識

3 社会参画、人権関連

「現状」と「県の取組」	県としての問題意識
○現状 - 県内の外国籍消防団員の数（令和6年4月時点） 16市町村、30人 ○県の取組 - 公権力の行使等に当たらない範囲内で外国人の審議会委員等への任用を促進するため、県の「審議会等の設置・運営に関する指針」を改正【R7年度改訂済】 「長野県人権政策推進基本指針」に基づく取組の推進 県の人権条例（仮称）の検討【令和7年度】 - 様々な県の政策において、居住している外国人の声を尊重するため、長野県外国人会議（仮称）の設置について検討【令和7年度以降】	外国人に対する差別や偏見をなくし、法令の範囲内で日本人と外国人を平等に扱うことが社会全体として求められる。 （例：公権力の行使等に当たらない範囲内で外国人の公務員や審議会委員への任用を促進、自治会や消防団への参画の促進、職場における待遇・昇進の機会の保障、外国人であることを理由とする賃貸住宅の貸し渋りの廃止）

4 国関連

「現状」と「県の取組」	県としての問題意識
○現状 「外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議」を設置し、「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」及び「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を定めて施策を推進 - 多文化共生社会を実現するための国としての基本法は制定されていない。 ○県の取組 7県1市（群馬県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市）で構成する多文化共生推進協議会を通じて、基本法の制定や地方自治体が取り組む多文化共生等の事業に必要な財源の確保を国に対して毎年要望	- 外国人の受入れや外国人との共生を今後どのように進めるかは国全体の問題 - 国における基本法の制定や組織体制の整備、財源の確保が求められる。